

エコアクション21

環境経営活動レポート

活動期間：令和6年7月～令和7年6月



発行日 令和 7 年 8 月 25 日

株式会社 修身建機

目 次

1.	環境経営方針	1
2.	組織と事業活動の概要	2
3.	実施体制（環境経営組織）	3
4.	環境経営目標	4
5.	環境経営活動計画	5
6.	環境経営目標の実績と評価、今後の取組内容	6～8
7.	具体的な環境経営活動	9
8.	環境関連法規登録簿(兼遵守評価記録)	10
9.	代表者による全体評価と見直し結果	11



1. 環 境 経 営 方 針

《基本理念》

当社は、名勝耶馬溪の自然豊かな場所に本拠地を構え、建設事業に携わっています。

耶馬の森、山国川に育まれた豊かな自然環境を未来の世代につなぐため、事業活動全体を通して、全従業員が一丸となって環境活動に参加し、自主的、継続的な環境負荷削減を推進し、地球環境保全に貢献していきます。

《環境行動指針》

1. 下記の課題について、環境経営目標、活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
 - ① オフィスや工事など事業活動において、電力、化石燃料の消費量を削減します。
 - ② 廃棄物発生を抑え、再利用、再資源化を促進します。
 - ③ 水資源を大切にするため、節水に努めます。
 - ④ グリーン購入に努めます。
 - ⑤ 環境に配慮した施工管理を徹底させ、地域とのコミュニケーションを大切にします。
 - ⑥ 地域の環境改善ボランティア活動に積極的に参加します。
2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
3. この環境経営方針は、全従業員に周知するとともに社内外に公表します。



更新日： 令和 2年 11月 1日

株式会社 修身建機
代表取締役
宇土 修身

2. 組織と事業活動の概要（対象範囲）

□ 組織の概要

- ・ 会 社 名 株式会社 修身建機
代 表 者 代表取締役 宇土 修身
設 立 昭和55年12月17日
資 本 金 2,000万円
- ・ 所 在 地
本 社 〒871-0433 大分県中津市耶馬溪町大字宮園476-4
津 民 土 場 大分県中津市耶馬溪町大字大野1506
機材・資材置場 大分県中津市耶馬溪町大字大島1338-4
宮 園 駐 車 場 大分県中津市耶馬溪町大字宮園634
- ・ 環境管理責任者及び連絡担当者(事務局)及び連絡先
環境管理責任者 工事部担当者 事務局 総務部担当者
TEL 0979-56-2430 FAX 0979-56-2662

□ 事業活動

- ・ 土木工事業、とび・土工事業、管工事業、ほ装工事業、水道施設工事業
※産業廃棄物収集運搬業(自社工事関係のみ対象)
- ・ 事 業 規 模
売 上 高 323 百万円 (令和7年6月期)
従 業 員 15 名
敷 地 面 積
【注】従業員＝常勤役員、社員、パートなどすべての役職員を含む
従業員数、延べ床面積は 令和7年8月25日現在。
- ・ 事 業 年 度

期首 7月

期末 6月

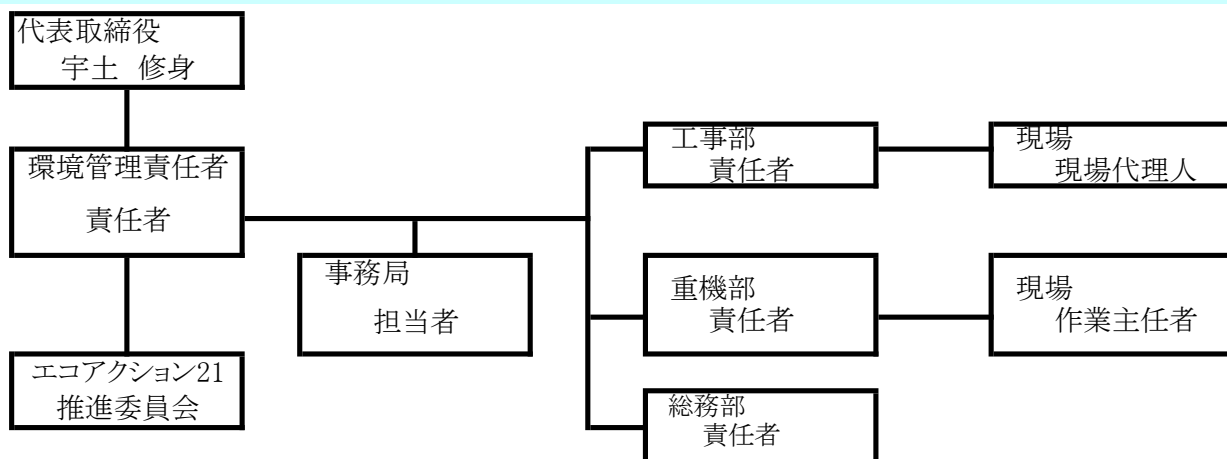
□ 対象範囲

全組織、全事業活動

□ 保有車両、重機

- ・ 営業車・送迎車(乗用車・軽トラ) 17 台
- ・ 運搬車(ダンプ・台車・ユニック) 5 台
- ・ 重機 28 台
(油圧ショベル・ブルドーザー・ゴムクローラダンプ)

3. 実施体制（環境経営組織）



役割、権限、責任

役 割 ・ 権 限 ・ 責 任	
代 表 者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する ・環境管理責任者の任命 ・課題とチャンスを確認にする ・環境経営方針を定める ・環境経営目標及び環境経営活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境経営目標、環境経営活動計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境経営活動レポートの確認
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境経営関連文書、記録の管理 ・環境経営活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境経営活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標、環境経営活動計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境経営活動に関する意見交換
部 門 長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営活動の実施 ・自部門における環境経営活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する
現 場 責 任 者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門に必要な手順書などの作成、管理 ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する ・環境上の緊急事態の対応策の承認
全 従 業 員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

4-1. 環境経営目標（令和4～6年度）

年度＝7月～翌6月

電力の二酸化炭素は、九州電力の2019年度調整後の排出係数(0.371kg-CO₂/kWh)により算出した

環境方針番号	選 択 課 題		基準年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			R3年度実績値 (単位)	目標値 (基準年度比)	目標値 (基準年度比)	目標値 (基準年度比)
①	二酸化炭素排出量の削減	合計	353,515	349,980	346,445	342,910
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	30,748	30,441	30,133	29,826
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-1	電力使用量の削減	合計	7,523	7,448	7,373	7,297
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	4,817	4,769	4,721	4,672
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-2	ガソリン使用量の削減	合計	2,706	2,679	2,652	2,625
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	12,482	12,357	12,232	12,108
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-3	軽油使用量の削減	合計	12,639	12,513	12,386	12,260
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	113,353	112,219	111,086	109,952
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
②-1	コピー用紙購入量の削減	合計	219,163	112,219	111,086	97,539
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所				
②-2	産業廃棄物は、リサイクル率100%を維持する	事務所	0.1	0.099	0.098	0.097
			(kg)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		現場	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
③	節水に努める (実行管理)	事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
		現場	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
④	グリーン購入の推進 (実行管理)	事務所	-	再利用・再生材・グリーン購入の 推進に配慮する。		
			-			
		現場	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
⑤	環境負荷の少ない資材・ 重機の使用(実行管理)	事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
		現場	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
⑥	地域ボランティアの参加	全社	4	4	4	4
			(件)	(件)	(件)	(件)
		全社	4	4	4	4
			(件)	(件)	(件)	(件)

注：事務所の灯油(暖房用)、LPG(給湯用)は、二酸化炭素排出量削減の対象には含まれません

4-2. 環境経営目標（令和7～9年度）

年度＝7月～翌6月

電力の二酸化炭素は、九州電力の2019年度調整後の排出係数(0.371kg-CO₂/kWh)により算出した

環境方針番号	選 択 課 題		基準年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			R6年度実績値 (単位)	目標値 (基準年度比)	目標値 (基準年度比)	目標値 (基準年度比)
①	二酸化炭素排出量の削減	合計	486,388	481,524	476,661	471,797
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	28,536	28,250	27,965	27,680
			(kg-CO ₂)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-1	電力使用量の削減	合計	7,359	7,285	7,212	7,138
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	5,920	5,861	5,802	5,742
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-2	ガソリン使用量の削減	合計	1,439	1,425	1,410	1,396
			(kWh)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	11,353	11,240	11,126	11,013
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
①-3	軽油使用量の削減	合計	10,213	10,111	10,008	9,906
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	166,140	164,479	162,817	161,156
			(ℓ)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
②-1	コピー用紙購入量の削減	合計	30.0	29.7	29.4	29.1
			(kg)	(△1%)	(△2%)	(△3%)
		事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
②-2	産業廃棄物は、リサイクル率100%を維持する	合計	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
		事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
③	節水に努める (実行管理)	合計	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
		事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
④	グリーン購入の推進 (実行管理)	合計	-	再利用・再生材・グリーン購入の 推進に配慮する。		
			-			
		事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
⑤	環境負荷の少ない資材・ 重機の使用(実行管理)	合計	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
		事務所	100	100	100	100
			(%)	(%)	(%)	(%)
⑥	地域ボランティアの参加	合計	4	4	4	4
			(件)	(件)	(件)	(件)
		事務所	4	4	4	4
			(件)	(件)	(件)	(件)

注：事務所の灯油(暖房用)、LPG(給湯用)は、二酸化炭素排出量削減の対象には含まれません

5. 環境経営計画

環境方針番号	環境経営目標課題	環境経営目標達成のための具体的活動	対象部門	管理責任者
①	二酸化炭素排出量の削減			
①-1	電力使用量を削減します	パソコンは終業時に電源を切る	全部門	各部門責任者
		パソコン未使用時の待機画面電力抑制	全部門	各部門責任者
		空調フィルターの清掃	全部門	総務担当者
		不要な空調機器の停止	全部門	各部門責任者
①-2	ガソリン使用量を削減します	アイドリングストップ	全部門	現場代理人
		効率的なルートでの運行	全部門	現場代理人
		タイヤ空気圧の適正化	全部門	現場代理人
		法定速度の遵守	全部門	現場代理人
		急発・急停止をしない	全部門	各部門責任者
①-3	軽油使用量を削減します	重機整備の励行	重機部	重機部長
		アイドリングストップ	全部門	重機部長
		効率的なルートでの運行	全部門	重機部長
		タイヤ空気圧の適正化	全部門	重機部長
		法定速度の遵守	全部門	重機部長
		低騒音排ガス規制の機械の導入	重機部	重機部長
②-1	コピー用紙購入量を削減します	コピー用紙の両面使用	総務部	総務部長
		使用済用紙の裏面利用	総務部	総務部長
		PCでのデータ共有を円滑にし用紙削減を	工事部	環境管理責任者
②-2	産業廃棄物の再資源化率100%を維持します	マニフェストによる適正処理・保管	工事部	現場代理人
		委託先の許可の確認及び契約書管理	工事部	現場代理人
		過積載防止に努める	工事・重機	現場代理人
③	社員の水への関心を高め節水に努めます (実行管理)	節水の呼び掛け	全部門	総務担当者
		洗車の効率化	全部門	総務担当者
		節水のステッカーの掲示	全部門	総務担当者
④	事務用品は対象を決めグリーン購入を推進します (実行管理)	再利用・再生材・グリーン購入の推進に配慮する。	総務部	総務担当者
⑤	環境に配慮した施工管理を徹底させます	リース品等の使用	工事部	環境管理責任者
		排出ガス対策型・低騒音型建設機械の使用	重機部	重機部長
⑥	地域環境保全のためボランティアに参加します	所属団体や公共機関のボランティアに参加する	全部門	環境管理責任者

6. 環境経営目標の実績と評価、今後の取組内容（全体）

令和6年度(令和6年7月～令和7年6月)

結果の記載：達成=◎ 未達成=×

評価は各期の数値と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

令和6年度の当社二酸化炭素総排出量:487,768kg-CO2

その際、年度の目標達成が困難と思われる課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

No.	環境目標		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年度計
①	二酸化炭素 排出量削減 基準年度対比 △3% 単位:kg-CO2	基準年度	17,521	15,343	17,472	19,655	65,132	50,521	41,432	43,941	33,201	14,468	14,020	20,809	353,515
		目標値	16,995	14,883	16,948	19,065	63,178	49,005	40,189	42,623	32,205	14,034	13,599	20,185	342,910
		実績	54,493	50,620	67,214	64,601	55,302	60,581	32,118	18,582	14,417	16,991	24,659	26,812	486,388
		結果	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×
		評価	◇評価◇ 工事発注量が減少したが、その分事務所で内業が増えた為、事務所の電気使用量が増えた。 ◇今後◇ 事務所、現場を問わず、環境経営計画に沿った節電、エコ運転などを心掛け、二酸化炭素排出量削減に取組む。												
①-1	電力消費量 削減 基準年度対比 △3% 単位:kwh	基準年度	975	808	1,100	438	318	417	791	656	620	599	419	382	7,523
		目標値	946	784	1,067	425	308	404	767	636	601	581	406	371	7,297
		実績	526	938	843	431	398	523	752	822	614	644	364	504	7,359
		結果	◎	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 現場の電力消費は減少した。その為、電気使用量が減少した。 ◇今後◇ 熱中症対策にも注意を図りながら、こまめな削減を心掛け努力していく。次期目標達成に向けて、計画に沿ってしっかり活動する。												
①-2	ガソリン 消費量削減 基準年度対比 △3% 単位:l	基準年度	2,197	2,173	2,175	2,219	2,024	2,359	2,001	1,930	2,084	2,073	2,200	1,686	25,121
		目標値	2,131	2,108	2,110	2,152	1,963	2,288	1,941	1,872	2,021	2,011	2,134	1,635	24,367
		実績	2,181	1,826	2,205	1,563	1,712	2,085	1,557	1,770	1,531	1,666	1,633	1,836	21,566
		結果	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎
		評価	◇評価◇ 現場箇所が近隣に多いことも影響し、現場のガソリン消費が減少した。使用量はカバーできた。 ◇今後◇ 現場位置、箇所数により変動幅が大きいと思われるが、引き続き効率利用により、消費量削減に取り組んでいきたい。												
①-3	軽油消費量 削減 基準年度対比 △3% 単位:l	基準年度	4,676	3,877	4,658	5,560	23,380	17,400	14,146	15,202	10,905	3,658	3,396	6,495	113,353
		目標値	4,536	3,761	4,518	5,393	22,679	16,878	13,722	14,746	10,578	3,548	3,294	6,300	109,952
		実績	18,865	17,638	23,673	23,301	19,610	21,283	10,815	5,429	4,075	4,937	7,945	8,569	166,140
		結果	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×
		評価	◇評価◇ 今年度は、重機の稼働が基準年度比で増加し、軽油車両、使用重機への給油量が大きく増えた。 ◇今後◇ 現場箇所数等により変動幅が大きいと思われるが、重機、車輛整備をこまめに行い、軽油消費量削減に取り組んでいきたい。 次期目標に向かって、新たな気持ちで燃料の効率利用を進めていきたい。												
②-1	コピー用紙 購入量削減 基準年度対比 △3% 単位:t	基準年度	0.00	0.01	0.03	0.02	0.00	0.03	0.00	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.130
		目標値	0.000	0.010	0.029	0.019	0.000	0.029	0.000	0.000	0.019	0.000	0.019	0.000	0.1261
		実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.030
		結果	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 裏面活用の定着により、使用量の削減につながった。 ◇今後◇ 両面印刷、裏面活用を引き続き行い、削減に取り組んでいきたい。												
②-2	再資源率 100% 前年 (基準年度対比) 100% 単位:%	基準年度	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 数値の根拠:環境負荷の自己チェックの結果による。契約書、マニフェスト管理等が出来ている。 ◇今後◇ 引き続き、継続していく。												
③	節水に努める	目標値	「節水」ラベルにより注意喚起を徹底させる。 集水排水設備の維持管理保全に協力する。												協力する
		実績	協力した				協力した				協力した				協力した
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 節水ラベル等を貼るにより、節水意識が向上した。 ◇今後◇ 引き続き、節水に努める。												
④	グリーン購入推進	目標値	再利用・再生材・グリーン購入の推進に配慮する。												推進する
		実績	推進した				推進した				推進した				推進した
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 再利用・再生材・グリーン購入の推進を図り購入出来ている。 ◇今後◇ 価格等を検討しながら、拡大推進を図りたい。												
⑤	環境配慮した 施工管理	目標値	環境に配慮した施工管理を徹底させる。												徹底する
		実績	徹底した				徹底した				徹底した				徹底した
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 排ガス機械、低騒音型機械の使用に積極的に取り組んでいる。 ◇今後◇ 今後も、排ガス機械、低騒音型機械の使用に積極的に取り組むと共に、環境負荷の少ない材料の使用に取り組んでいきたい。												
⑥	地域ボランティア 参加 前年 (基準年度対比) 4件 単位:件	目標値	年間 4 回												年間4回
		実績			1									1	2
		結果			◎									◎	×
		評価	◇評価◇ 中津市内のボランティア活動に積極的に参加することができたが、参加予定のボランティアが降雨により中止になったため、回数が減少した。 ◇今後◇ 災害が多く参加しにくくなったが、可能な限り参加していく。												

注:事務所の灯油(暖房用)、LPG(給湯用)は、二酸化炭素排出量削減の対象には含まれません

6. 環境経営目標の実績と評価、今後の取組内容（事務所）

結果の記載： 達成=◎ 未達成=×

評価は各期の数値と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、年度の目標達成が困難と思われる課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

No.	環境目標		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年度計
①	二酸化炭素 排出量削減 基準年度対比 △3% 単位:kg-CO2	基準年度	2,844	2,682	2,648	2,669	2,310	3,016	2,684	2,335	2,515	2,570	2,474	2,001	30,748
		目標値	2,759	2,602	2,569	2,589	2,241	2,926	2,603	2,265	2,440	2,493	2,400	1,941	29,826
		実績	2,363	2,390	2,448	1,803	2,136	2,902	2,379	2,467	2,012	2,491	2,538	2,606	28,536
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	×	×	◎
		評価	◇評価◇ クーラーと扇風機の併用使用により、室温を高く設定できた。 ◇今後◇ 昼休みの1時間は事務所内の電気を消灯することを心掛ける。掃除時間は、電気を消す。												
①-1	電力消費量 削減 基準年度対比 △3% 単位:kwh	基準年度	288	742	594	438	318	417	433	382	347	299	253	306	4,817
		目標値	279	720	576	425	308	404	420	371	337	290	245	297	4,672
		実績	526	938	843	431	310	392	553	580	385	444	273	245	5,920
		結果	×	×	×	×	◎	◎	×	×	×	×	×	◎	×
		評価	◇評価◇ 厳寒、猛暑による電気使用量の増加。熱中症対策の為、クーラーの使用時間が長くなった。 ◇今後◇ 昼休みの1時間は事務所内の電気を消灯することを心掛ける。掃除時間は、電気を消す。												
①-2	ガソリン 消費量削減 基準年度対比 △3% 単位:l	基準年度	1,180	1,037	1,046	1,080	945	1,233	1,088	945	1,028	1,060	1,026	814	12,482
		目標値	1,145	1,006	1,015	1,048	917	1,196	1,055	917	997	1,028	995	790	12,108
		実績	934	880	921	708	871	1,188	937	971	806	1,003	1,050	1,084	11,353
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎
		評価	◇評価◇ 近くの工事現場が多かったため、使用量の減少につながった。 ◇今後◇ 継続して、車のメンテナンス、アイドリングストップ等に心掛け、削減に取り組みたい。												
②-1	コピー用紙 購入量削減 基準年度対比 △3% 単位:t	基準年度	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.02	0.100
		目標値	0.000	0.000	0.029	0.000	0.000	0.029	0.000	0.000	0.019	0.000	0.000	0.019	0.0970
		実績	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00	0.00	0.03
		結果	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 裏紙の使用を徹底させ、使用量の削減につながった。 ◇今後◇ 社員自ら、両面コピー、データー今データー共有に取り組んでいる。												
③	節水に努める	目標値	「節水」ラベルにより注意喚起を徹底させる。												-
		実績	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力した	協力する
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 節水ラベル等を貼ることに、節水意識が向上した。 ◇今後◇ 引き続き、節水に努める。												
④	グリーン購入推進	目標値	再利用・再生材・グリーン購入の推進に配慮する。												配慮する
		実績	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した	配慮した
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 再利用・再生材・グリーン購入の推進を図り購入出来ている。 ◇今後◇ 価格等を検討しながら、対象品目を拡大していきたい。												
⑤	地域ボランティア 参加 前年 (基準年度対比) 4件 単位:件	目標値	年間4回												
		実績			1									1	2
		結果			◎									◎	×
		評価	◇評価◇ 雨の為中止になった事もあったため、参加回数が減少。 ◇今後◇ 引き続き、積極的に参加していきたい。												

6. 環境経営目標の実績と評価、今後の取組内容（現場）

令和6年度(令和6年7月～令和7年6月)

結果の記載：達成=◎ 未達成=×

評価は各期の数値と環境活動計画の実施状況を対象に事務局で記載する

その際、年度の目標達成が困難と思われる課題は「問題点」として取り上げ予防・是正処置を講じる

No.	環境目標		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	年度計
①	二酸化炭素 排出量削減 基準年度対比 △3%	基準年度	17,414	15,068	17,252	19,492	65,014	50,366	41,271	43,799	33,072	14,357	13,927	20,695	351,727
		目標値	16,892	14,616	16,734	18,907	63,064	48,855	40,033	42,485	32,080	13,926	13,509	20,074	341,175
		実績	52,130	48,230	64,766	62,798	53,166	57,679	29,740	16,114	12,405	14,500	22,121	24,205	457,853
		結果	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×
	単位:kg-CO2	評価	◇評価◇ 基準年度とは、現場受注条件が減少したため、現場電力消費の分がCO2排出減につながった。 ◇今後◇ 新たな中期環境経営目標にチャレンジする。節電、エコ運転等に心掛け二酸化炭素排出量削減に積極的に取り組んでいきたい。 感染症、熱中症対策、安全を確保しながら、エネルギーの効率利用を、関係者と連携して進めていく。												
①-1	電力消費量 削減 基準年度対比 △3%	基準年度	687.0	66.0	506.0	0.0	0.0	0.0	358.0	274.0	273.0	300.0	166.0	76.0	2,706.0
		目標値	666.4	64.0	490.8	0.0	0.0	0.0	347.3	265.8	264.8	291.0	161.0	73.7	2,624.8
		実績	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0	131.0	199.0	242.0	229.0	200.0	91.0	259.0	1,439.0
		結果	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎
	単位:kwh	評価	◇評価◇ 基準年度と比較して、現場事務所設置箇所が減少し、作業内容により電力消費量が減少したことが、大きく影響した。 ◇今後◇ 節電、効率利用の管理をしっかり進めることが出来た。 但し、熱中症対策にも注意を図る。												
①-2	ガソリン消費量 削減 基準年度対比 △3%	基準年度	1,017	1,136	1,129	1,139	1,079	1,126	913	985	1,056	1,013	1,174	872	12,639
		目標値	986	1,102	1,095	1,105	1,047	1,092	886	955	1,024	983	1,139	846	12,260
		実績	1,246	946	1,284	855	841	897	620	800	726	664	582	751	10,213
		結果	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	単位:l	評価	◇評価◇ 相乗り可能な場合には相乗りを実施を行っている。 近年異常気象である為、移動中の社内も、適温管理を行いながら、エコドライブ、点検整備を行う必要がある。 ◇今後◇ 今後とも、エコ運転に取り組んでいく。												
①-3	軽油消費量 削減 基準年度対比 △3%	基準年度	4,676	3,877	4,658	5,560	23,380	17,400	14,146	15,202	10,905	3,658	3,396	6,495	113,353
		目標値	4,536	3,761	4,518	5,393	22,679	16,878	13,722	14,746	10,578	3,548	3,294	6,300	109,952
		実績	18,865	17,638	23,673	23,301	19,610	21,283	10,815	5,429	4,075	4,937	7,945	8,569	166,140
		結果	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×
	単位:l	評価	◇評価◇ 現場条件が、基準年度と大きく変化したことにより、大幅とは大きく乖離した結果となった、重機の稼働も多かった。 ◇今後◇ 新中期環境経営目標の初年度であり、車両や重機の効率利用を進めて、目標達成にチャレンジする。												
②-2	再資源率 100% 基準年度対比 100%	基準年度	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		目標値	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	単位:%	評価	◇評価◇ 契約書、マニフェスト管理等が出来ている。 ◇今後◇ 継続していく。												
⑤	環境配慮した 施工管理	目標値	環 境 に 配 慮 し た 施 工 管 理 を 徹 底 さ せ る 。												徹底させる
		実績	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した	徹底した
		結果	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		評価	◇評価◇ 排ガス機械、低騒音型機械の使用に積極的に取り組んでいる。 ◇今後◇ 今後も、排ガス機械、低騒音型機械の使用に積極的に取り組むと共に、環境負荷の少ない材料の使用に取り組んでいきたい。												

7. 具体的な環境経営活動

● 超低騒音型・排出ガス基準適用重機



● 各種ボランティア活動参加

・ 森林ボランティア参加 6月10日



・ 道の日道路清掃ボランティア



● エコ捨ての利用・再資源化(ペットボトル・アルミ缶のリサイクル)



● 熱中症対策

・ 空調服:送風機能のある作業服



・ 麦茶、塩飴・塩等の常備



● ごみの分別



● グリーン購入推進



● 節電・節水・コピー用紙の削減をラベル表示・切手利用



8. 環境関連法規登録簿（兼遵守評価記録）

作成者:総務担当者 遵守評価実施日:令和 7 年 8月20日
承認者:環境管理責任者 作成: 総務部担当者
確認: 環境管理責任者

法令等の名称(略称)	条項	当 社 に 適 用 さ れ る 要 求 事 項	評価 時期	遵 守 方 法 確 認 方 法	確認 結果
廃 棄 物 処 理 法	12条	産業廃棄物の委託契約	工事毎	契 約 書	適
	12条3	産業廃棄物管理表	工事毎	マ ニ フ ェ ス ト	適
	12条3の7項	産業廃棄物管理票 交付等状況報告書	年1回	交付等状況報告書	適
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	国土交通省 告示第348号	対象工事が公共工事 の 場 合 に 適 用	工事毎	ステッカー 確認	適
建設リサイクル法	法5条	建築資材廃棄物の 発 生 抑 制 及 び 建 設 資 材 廃 棄 物 再 資 源 化 に 努 め る	工事毎	マ ニ フ ェ ス ト	適
家電リサイクル法	法6条	テレビ、エアコンなど法の 定める家電製品の更新 及 び 廃 棄	発生時	適 正 業 者 へ の 引 き 渡 し 及 び 費 用 負 担	該当なし
小型家電リサイクル法	法7条	法に定める小型家電 の 更 新 及 び 廃 棄	発生時	再資源化を適正に 実施する者に引き 渡	該当なし
自動車リサイクル法	法5条 法8条	社有車の長期使用、管理 社有車両更新、廃車時	発生時	点検修理、維持管理 適正業者への引き渡し 「引取証明書」の受理	該当なし
低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定	国土交通省 告示第487号	対象工事が公共工事 の 場 合 に 適 用	工事毎	ステッカー 確認	適
道 路 交 通 法	77条	道 路 使 用 の 許 可	工事毎	届 出 書	該当なし
道 路 法	32条	道 路 占 用 の 許 可	工事毎	届 出 書	該当なし
道路運送車両法	47条の2	車 検	年1回	車 検 証	適
フロン排出抑制法	法16条	業務用エアコンの簡易 自主点検実施及び記 録	3カ月毎	室内機、室外機の 異常の有無及び 内容記録の保管	適
中津市農業集落排水処理施設設置条例	14条	所有者の管理責任	適時	適 切 な 管 理 異 常 時 の 報 告	適

評 価

- ・環境関連法規への違反はありませんでした
- ・関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした

9. 代表者による全体評価と見直し結果

記録作成日 和 7年7月24日(木) 10:00～11: 作成者 総務担当者

確認者 環境管理責任者

承認者 環境管理責任者

評価対象の期間	令和 6年7月～令和 7年6月		
見直し実施日時	令和 7年7月24日(木) 10:00～11:00	場 所	応 接 室
出席者	代表者 宇土 修身 環境管理責任者 環境管理責任者 事務局 総務担当者		

環 境 情 報	環 境 管 理 責 任 者 の 所 見	代 表 者 の コ メ ン ト
1 環境関連法規等の遵守状況確認結果	昨年に引き続き、環境関連への違反はありませんでした。	今後も継続して行う。
2 環境経営目標の達成状況	軽油消費量以外の目標値は達成できたが、全体的な二酸化炭素排出量は増加した。	改善できることを再度確認して、全社員で取り組んでいけるように意識を高めること。
3 環境経営活動計画の実施状況	環境経営活動計画は実施できた。	今後も継続して行う。
4 問題点の是正、予防の状況	未達成の項目は原因を追究し、その解決を検討し改善していきたい。	原因を追究し、改善案を作成すること。
5 外部からの苦情の有無及び対応結果	期間中の苦情の受付はありませんでした。	今後も継続して行う。
6 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	工事部門、重機部門で訓練を実施済み	今後も継続して行う。
7 その他	特になし。	

代 見 表 直 者 し の の 指 必 示 要 内 性 容 判 断 と	①環境経営方針	継続する
	②環境経営目標	継続する。
	③環境経営活動計画	継続する
	④環境経営システム	継続する
	⑤実施体制	継続する
	その他の指示	<p>長年のエコアクションの取組の成果と各個人の意識向上により、環境目標達成項目が増加したと思われる。軽油消費量の増加は、下請工事の受注が増えたことによるものなので、経営面から考慮すると大きなプラス材料となっている。それに伴い、低騒音排ガス規制対応の機械購入にもつながるので、将来的には環境面にプラスされる結果となると思われます。</p>